

関係者ら交え、町へ提言

日野町まちづくり町民会議

これからのまちのあり方やまちづくりなどについて話し合う
第12回日野町まちづくり町民会議（松本豊文委員長）が、
11月20日、町役場で開かれました。
今回は委員のほか、町関係者も出席し、
町民会議が今まで議論を重ねてきたことや
今後取り組んでほしい事業などについて話し合いました。



ざっくばらんに意見を出し合う

多くの委員、町関係者が出席
率直な意見交換を

会議に出席したのは、町民会議の委員18人と、景山町長以下、町の管理職員11人の、計29人。

はじめに松本会長が、「町民会議の委員の任期も終わりに近づいてきた。町の財政もだんだん良くなっているとのことだが、国内ではいろんな問題が山積している。今日は町の課長たちに声をかけたところ多く参加いただいた。ま

ちのあり方について話し合いたい」とあいさつしました。

続いて景山町長があいさつ、「委員の皆さんには、この2年間真剣にまちづくりに取り組んでいただき、本当にありがとうございました。皆さんが話し合われたことについて、できることから手をつけていきたい。今回は率直な意見を聞きたいです」と話しました。

話し合いの成果を町に提案 町からも回答が

今回の会議では、委員がこれまでグループごとに話し合った、町に今後取り組んでほしい事柄について提案しました。
提案した内容は、7ページの表をご覧ください

しようと考えています。

次回は、幅広く地域の皆さんの声を取り上げるため、各自治会から委員を出していただき、地域の問題を話し合っ

提案のあと、町関係者から、それについての回答がありました。その中の主なものを紹介します。

若手職員へのアンケートについて（町長から）

これについてはすでに行っているのですが、これを発展させていきたい。第2期の会議では、直接職員を呼んで声を聞いてみてはどうでしょうか。

町民会議の継続について
（町長から）
第2期目の町民会議を設置

まちづくり会議が提案した、 平成 21 年度に町で取り組んでほしい施策・事業

項 目	内 容
思いやりの心を育てる取り組みを	テレビ・携帯電話は必需品だが、乳幼児から大人までがその世界に浸かり、一番大切な心が奪われている。住民、行政、議会と一緒に豊かな心づくりに取り組んでいく必要がある
若手職員の意見や提案を取り入れた行政を	課長未満の町職員から、業務の改善や将来のまちづくりについての意見・提案を出してもらおうような取り組み（無記名アンケート）をしてほしい
まちづくり町民会議の継続を	町民会議委員の任期は来年1月までだが、今後もぜひ継続してほしい。現在の委員構成は行政が考えたもの。来期はもっと住民主体の会議になるよう考えたい
ぽかぽか教室の宣伝を	元気な高齢者づくりのため、ぽかぽか教室の参加者を増やしたい。「参加してよかった」といった参加者の声を町広報に掲載し、呼びかけてほしい
高齢者の交流の場づくり	高齢者の閉じこもりをなくすため、ぽかぽか教室以外でも高齢者が集まって話ができる場づくりを考えたい
屋根付きごみ置き場の設置支援	リサイクル推進のため、屋根付きごみ置き場設置の経費の補助事業がないか検討してほしい。まち部のごみ集積場所に町有地を使うなど検討してほしい
リサイクル推進講演会の開催	住民のリサイクル意識を高めるため、講演会を開いてほしい
グラウンド芝生化の推進	グラウンドなどの芝生化を進めたい。管理が大変などの問題はあがるが、取り組む方向で検討していきたい
町の遊休土地の活用	町の空き地で草が茂っている土地がある。処分や利用、管理方法などを検討し、町有財産を有効に活用したい
高齢者が数人だけの地域の支援	高齢者が数人だけの地域があるので、農地の維持管理など何らかの形で支援することはできないか
全町一斉クリーン作戦の時期の検討	全町一斉クリーン作戦は、9月ではなくほかの時期にしてほしい。行事が重なり、毎週のように日曜日がつぶれるので、ずらしてもらえると助かる

ぽかぽか教室について（健康福祉課長から）
 現在、ぽかぽか教室は19団体に組み込んでいただき、参加者からはとても好評をいただいています。また、参加団体も年々増えつつあります。また、高齢者の交流の場として、社会福祉協議会が「ふれあいサロン」を計画していますので、こちらも活用してほしいです。

屋根付きごみ置き場、リサイクルの推進について（産業振興課長から）
 屋根付きのごみ置き場（ステーション）については、在部ではおおむね自治会予算で設置していただいています。まち部では、根雨5区・6区でステーションを作っていた。だいたいの例もありますので、可燃ごみのステーション化も含め、検討いただきたいと思います。

リサイクル推進の講演会は、ぜひこちらからお願いしたいです。また、伯耆町のリサイクルプラザなどを実際に見学いただいで、まちの皆さんにリサイクルの意識を高めてほしいです。

また、クリーン作戦の実施

そのほかのことについて（町長から）
 町では、観光のまちづくりに一番力を入れていきます。オシドリ観察小屋や金持神社などに多くの人が訪れますが、地元の方にもそれらを見て外に発信してほしいと思います。

高齢者の居場所づくりについて。先日若桜町に行ったところ、高齢者の皆さんが一つの家に集まって話したりお茶を飲んだりしていました。聞けばここは高齢者の居場所としてNPO団体が運営しているとのこと。町内でもこんなグループがあちこちにできればと思います。

ぽかぽか教室について（健康福祉課長から）
 現在、ぽかぽか教室は19団体に組み込んでいただき、参加者からはとても好評をいただいています。また、参加団体も年々増えつつあります。また、高齢者の交流の場として、社会福祉協議会が「ふれあいサロン」を計画していますので、こちらも活用してほしいです。

そのほかのことについて（町長から）
 町では、観光のまちづくりに一番力を入れていきます。オシドリ観察小屋や金持神社などに多くの人が訪れますが、地元の方にもそれらを見て外に発信してほしいと思います。

高齢者の居場所づくりについて。先日若桜町に行ったところ、高齢者の皆さんが一つの家に集まって話したりお茶を飲んだりしていました。聞けばここは高齢者の居場所としてNPO団体が運営しているとのこと。町内でもこんなグループがあちこちにできればと思います。

時期については、自治会長会議などで話し合っていきます。

農業の活性化について（産業振興課長から）
 農業の活性化のためには、農産物の生産性を上げること、農産物のブランド化が大切。優良農地の確保や、コシヒカリ、スズハラモチのブランド化などに取り組みたいと考えています。